

令和7年度版「中学道徳 とびだそう未来へ」

3年 年間指導計画・評価の視点 (案)

○本表は、4・6・11・1・2月に、それぞれ1時間のゆとりの時間を想定して作成しています。

○ゆとりの時間では、学校の実情に応じて補充教材を活用したり、それに替えて郷土資料等を活用したりすることを想定しています。

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	学習活動と主な発問 (○は導入)	評価の視点	他教科・ 特別活動な どとの関連	SDGs 目標と の関連
4 月 ③	1 自分の思い・相手の 思い 「寛容の心をもって、異 質な他者とも共生しよ う」 【B 相互理解、寛容】	1	絵本『キラキラ』を通して、 冷静さを失うと思いきみ から判断して取り返し がつかないことをしま うおそれがあることに 気づき、相互理解を進 めて相手を受け入れて いこうとする道徳的判 断力を高める。	1 自分自身の思いと相手の思いを 考える。 ○自分の先入観や思いき みが強すぎて、相手の 思いに気づけなかつた ことはないだろうか。 2 「自分の思い・相手の 思い」p.8を読み、考 える。 3 「自分の思い・相手の 思い」p.9～13を読 み、考える。 ●キルのとった行動を どう思うだろうか。な ぜこのようなことが起 こってしまったのだら う。 ●自分の思いきみが強 すぎて失敗しないため には、どんなことが大 切だろう。 4 相互に尊重すること の大切さについて考 える。 ●お互いの考えや立 場を尊重することは、 自分や相手にどのよ うな価値をもたらす だろう。	【多面的・多角的に考 える】 キルがとった行動に対 するその行動の是非 や難しさを踏まえ、な ぜキリとキラキラで は相互理解ができたの かと、その理由を多 面的・多角的に考 えている。 【自分ごととして考 える】 自分の経験を通して、 相互理解が十分でな かったできごとなど を振り返りながら、 本時の学びと関連づ けている。	美術	
	2 藤井聡太の学び方 「自ら進化できる人」 【A 向上心、個性の伸 長】	1	杉本さんの藤井さん への接し方や藤井さん の学ぶ姿勢を考える ことを通して、自ら考 え学ぶことができる 人が進化できる人だ ることに気づき、自ら 進化できる人になる ために身につけたい 力は何かを考え、実 行しようとする実 践意欲と態度を育 てる。	1 杉本さんと藤井さん の関係性について知 る。 ○自ら進化できる人 になるために大切な ことはなんだろう。 2 「藤井聡太の学び 方」を読み、自ら進 化できる人とはどの ような人かを考 える。 ●杉本さんはなぜ、 藤井さんに将棋を教 えなかったのだら う。 ●藤井さんのよう に自ら進化できる 人と、そうでない 人の違いはなん だろう。 3 自分がこれから 身につけたい力は 何かを考 える。 ●自ら進化できる 人になるために、 あなたがこれから 身につけていき たい力はなん だろう。	【多面的・多角的に考 える】 他者の意見を聞き、 自ら進化できる 人とそうでない 人の特徴や違 いについて新 たな考えを見 つけている。 【自分ごととして考 える】 杉本さんの接 し方や藤井 さんの学 び方を 知り、自ら 進化できる 人になり たいとい う気持 ちをもつ とともに、 そのた めに自 分に必 要な力 は何か を考 えている。	特別活動	
5 月 ③	3 僕は友達を裏切った のか？ 「真の友情」 【B 友情、信頼】	1	部活動について「僕」と 友達の間で起きたこと の意味を考 えることを通して、 個性や価値観の相違 を超えた友情の尊 さについて考 え、よりよい友 情を培っ ていこうと する態度を 育てる。	1 友達について考 えていること を出し合う。 ○「友達っていいな」 と思うのは、ど んな時だら う。 2 「僕は友達を裏 切ったのか？」 を読み、個性の 相違を超えて の友情の尊 さについて 話し合う。 ●「僕」は友 達から何 をもら ったのだ らう。 ●「僕」は 友達を 裏切 ったの だら うか。 みん なで 話 し合 っ て み よ う。 3 真の友 情を培 うた めに 自 分 に は 何 が 必 要 か、 考 え を ま と め る。 ●真の 友 情 を つ ち か う た め に 必 要 な も の は なん だ ら う。 キ ー ワ ー ド を 考 え よ う。	【多面的・多角的に考 える】 友情について、登 場人物の心 情を理 解しな がら、同 じ行 動で も、見 方 や基 準に よ っ て 判 断 が 分 か れ る こ と が あ り、 そ れ を 認 め る こ と の 大 切 さ を 考 え て い る。 【自分ごととして考 える】 真の友 情を 培っ てい く う え で 自 分 に と っ て 何 が 必 要 な の か、 何 を 補 っ て い か な け れ ば な ら な い か を、 自 ら の 経 験 と 重 ね て 考 え を 深 め て い く こ と で 自 分 ご と し て 捉 え て い る。	特別活動	

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	学習活動と主な発問（○は導入）	評価の視点	他教科・ 特別活動な どとの関連	SDGs 目標と の関連
5 月 ③	4 いのちの花プロジェクト 「生命の尊厳」 【D 生命の尊さ】	1	殺処分された動物の生命について考えることを通して、生命の尊厳に気づき、生命あるものは互いに支え合って生き、生かされていることに感謝の念をもとうとする態度を育てる。	1 ペット（愛玩動物・犬）の現状を知って考える。 ○命の重さについて考えてみよう。 2 「いのちの花プロジェクト」（序盤）を読み、ペットとの関わり方を考える。 ●飼主の責任にはどんなものがあるだろう。 3 「いのちの花プロジェクト」（中盤）を読み、ペットとの関わり方から生命の尊さを考える。 ●あなたは、この活動についてどう思うだろうか。 4 「いのちの花プロジェクト」（終盤）を読み、ペットの命の連続性や公平性について考えを深める。 5 命の重さについて考える。 ●あなたは、動物たちの命の重ささとう向き合っていこうと思うだろうか。	【多面的・多角的に考える】 殺処分される愛玩動物の問題を通して、生命の尊さ、命の有限性、連続性などの視点を踏まえ、あらゆる命の価値について考えを深めている。 【自分ごととして考える】 自分自身が愛玩動物といかに関わるかを考えることから、命あるものは互いに支え合って生き、生かされていることに感謝の思いをもち、生命を敬おうとする思いを深めている。	総合的な学習	
	5 卒業文集最後の二行 「いじめを許さない心」 【C 公正、公平、社会正義】	1	いじめの加害者が抱える自責の念や、被害者の気持ちについて考えることを通して、差別や偏見のない社会を実現していこうとする態度を育てる。	1 「いじめ」について感じていることを出し合う。 ○差別や偏見をなくすために、私たちが考えるべきことはなんだろう。 2 「卒業文集最後の二行」を読み、筆者の「取り返しのつかない心の傷」について話し合う。 ●このできごとが「私」にとって「取り返しのつかない心の傷」になっている理由について考えよう。 ●T子さんの作文の最後の二行を読んで、あなたはどう感じただろうか。 ●「全ての人に公平に接すること」をはばんでいるものがあるとしたら、それはなんだろう。話し合ってみよう。 3 差別や偏見をなくすために私たちが努力すべきことを考える。	【多面的・多角的に考える】 クラスメイトの考えや「私」の後悔を、自分の考えと比較しながら、差別や偏見のない社会の実現について考えを深めている。 【自分ごととして考える】 現在も「私」を苛む心の葛藤を捉え、何十年たっても傷が癒えないこと、それはT子さんのほうがより深刻であることを理解し、いじめについて自らの経験と重ねて考えを深めている。		目標 16
6 月 ④	6 あなたは顔で差別をしますか 「互いの個性や立場の尊重」 【B 相互理解、寛容】	1	藤井さんの体験について考えることを通して、それぞれの個性や立場を尊重し、寛容な心をもって相互に理解し、謙虚に他に学び、自らを高めたいこうとする態度を育てる。	1 不確かな情報をもとに行動してしまった経験を出し合う。 ○外見だけで人を判断してしまったことはないだろうか。 2 「あなたは顔で差別をしますか」を読み、寛容な心をもつためには何が大切かを考える。 ●藤井さんは自分のどんなところを変えたのだろう。それによってどんな変化が起きたのだろう。 ●藤井さんの生き方から、あなたはどんなことを学んだだろうか。 3 他の道徳的価値との関わりを確かめ、学びを深める。 ●差別や偏見のない社会を築いていくためには、どんなことが大切なのだろう。	【多面的・多角的に考える】 相互理解や寛容の心が、差別や偏見のない社会を築くために大切なことだと考える藤井さんの生き方から、差別や偏見をなくすために必要な「知ることの大切さ」などを様々な視点から考えている。 【自分ごととして考える】 差別や偏見のない社会を築くためには、相互理解や寛容の精神が大切だということを、自らの経験を振り返って深く考えている。	社会	目標 16
	7 昨日より今日、今日よりも明日 「新しいものを生み出すのに大切な心とは」 【A 真理の探究、創造】	1	岸田周三さんの料理を創造する態度を通して、真理を探究して新しいものを生み出し続けるのに大切なことを多面的・多角的に深く考え、粘り強く探究していこうとする態度を育てる。	1 「新しいもの」に感心した経験を出し合う。 ○「よくこのようなものが作れたなあ。」と感心するものはあるだろうか。それを創造した人は、どうやって作り出したのだろう。 2 「昨日より今日、今日よりも明日」を読み、話し合う。 ●岸田さんがバルボさんから学んだことはなんだろう。それはなぜ岸田さんの心に響いたのだろう。 ●岸田さんの考えの中であなたの心にいちばん響いた考えはなんだろう。それはなぜだろうか。 3 創造的な生き方について考える。 ●自分が何かを創造しようとする側に立った時、あなたは何を大切にしたいと思うだろうか。	【多面的・多角的に考える】 岸田氏がバルボ氏から学んだことを、多面的・多角的に捉え、それぞれの学びの関係性について考え、岸田氏に与えた影響や、岸田氏の成長について思いをめぐらせ深く考えている。 【自分ごととして考える】 岸田氏の料理を創造する姿勢を通して、生徒自身の心に響いたことを考え、その理由に自らの経験や生き方が関係していることを自覚し、それを言語化することで、道徳的価値の理解を深めている。	技術・家庭、特別活動	目標 8

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配 当 時 数	ねらい	学習活動と主な発問（○は導入）	評価の視点	他教科・ 特別活動な どとの関連	SDGs 目標と の関連
6 月 ④	8 昇き縄 「地域社会の一員とし て」 【C 郷土の伝統と文化の 尊重、郷土を愛する態度】	1	「僕」が抱く博多祇園山笠 への思いについて考える ことを通して、郷土の伝統 や地域社会の一員として の自覚の大切さに気づき、 郷土を愛し、すすんで郷土 の発展に努めようとする 態度を育てる。	1 郷土の伝統行事に関わった体験を出し合う。 ○郷土の伝統や文化に触れたり関わったりしたことはあるだろうか。 2 「昇き縄」を読み、地域の伝統や文化のよさや意義について話し合う。 ●「僕」は、博多祇園山笠のどんなどころに魅力を感じているのだろう。 ●あなたがこれから大切にしたい、守っていききたい郷土の伝統や文化のよさはな んだらう。 3 郷土の伝統や文化を、次の世代へ引き継ぐ地域社会の一員としてどうありた いかを考える。 ●地域社会の一員として郷土の伝統や文化とどのように向き合っていきたいか、 自分の考えをまとめよう。	【多面的・多角的に考える】 郷土の伝統や文化のよさについて、多面 的・多角的に考え、自分たちの地域の伝統 や文化への関わり方をそれぞれの立場で考 え、多様な関わり方があることを学び合っ ている。 【自分ごととして考える】 地域社会と自分との関わりの中で、郷土や 伝統文化の大切さについて考え、自分が関 わっている地域の伝統や文化についての思 いを振り返り深めている。	社会、総合的 な学習	目標 11
7 月 ②	9 父のひと言 「責任を全うする」 【A 自主、自律、自由と責 任】	1	父が筆者に発した言葉の 意味を考えることを通し て、責任をもつことの大切 さを自覚し、自分の責任を 全うしようとする態度を 育てる。	1 自分のもっている「役割」を出し合う。 ○自分の役割をきちんと果たしてよかったなど思った経験はあるだろうか。 2 「父のひと言」の前半（教科書 p.56～57）を読み、「私」の悩んでいる状況を 理解する。 3 「父のひと言」の後半（教科書 p.58～61）を読み、父がかけた言葉について話 し合う。 ●「……おまえのカワウソが寂しがっているぞ……。」という父の言葉は、「私」の 生き方にどんな影響を与えただろう。 ●最後まで責任をもって行いたいと思ったことはあるだろうか。なぜそう思った のだろう。 4 責任を果たすことについての考えをまとめる。 ●責任を果たすことについて、今日の授業で新たに学んだことを出し合おう。	【多面的・多角的に考える】 責任をもつことの大切さについて、様々な 道徳的価値とのつながりを踏まえながら考 えを深めている。 【自分ごととして考える】 責任をもつことの大切さについて、自分と の関わりの中で考えを深めている。	総合的な学 習	
	10 無限の道 「芸から学んだ人生」 【C 我が国の伝統と文化 の尊重、国を愛する態度】	1	より高い芸を追究する筆 者の悩みや葛藤を考える 活動を通し、日本の伝統文 化を継承・発展させていく ことの厳しさを理解する とともに、日本人として日 本の伝統文化を大切にし ようとする意欲を育てる。	1 日本の伝統文化について知っていることを確認する。 ○あなたが大切にしたい日本の伝統文化はなんだらう。 2 「無限の道」を読み、話し合う。 ●死んだつもりで「生きる」ことを決めた「私」を、あなたは思うだろうか。 ●「何かに向けて精進しているかた」「足踏みしているようなあせりを感じている 人」に、「私」はどんなことを伝えたいのだろう。 3 日本の伝統文化と自己の関わりをまとめる。 ●昔から受け継がれてきた日本の伝統や文化と、あなたはどうか関わられるだろう。	【多面的・多角的に考える】 他の人の考えや筆者の生き方を自分の考え と比較しながら、伝統文化を大切に継承し ていく生き方の苦しさや大切さについて深 めている。 【自分ごととして考える】 筆者の葛藤を共感的に捉えながら、今後の 伝統文化をどのように見ていこうとするの かを自分の言葉で表現している。	国語	
9 月 ③	11 テーブルの卵焼き 「家族の絆」 【C 家族愛、家庭生活の充 実】	1	大野さんの歌から自分と 母親との関係を見つめ直 す春菜の姿を通して、父母 や祖父母に対する敬愛の 念を深め、家族を大切に しようとする態度を育てる。	1 自分と家族との関係を振り返る。 ○家族の大切さを感じるの、どんな時だろう。 2 「テーブルの卵焼き」を読み、家族の大切さについて話し合う。 ●大野さんがなくなったお母さんにいちばん伝えたいことはなんだらう。 ●春菜はどうして、「朝の卵焼きが、まだ残っていますように。」と祈ったのだら う。 ●家族の一員として、あなたはこれから、どんな気持ちで家族と向き合うことが大 切だろう。 3 家族を大切にすることについて、本時の学習を通して考えたことをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 自分と家族とのよりよい関係について、春 菜の思いや大野さんのメッセージ、クラス メイトの考えなどから考えを深めている。 【自分ごととして考える】 家族を大切に生活することについて、 春菜の心情を共感的に捉え、自らの経験と 重ねて考えを深めている。	技術・家庭、 特別活動	

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	学習活動と主な発問（○は導入）	評価の視点	他教科・ 特別活動な どとの関連	SDGs 目標と の関連
9 月 ③	12 歩きスマホをどう するか 「調和と安全」 【A 節度、節制】	1	歩きスマホの危険性やスマ ホ使用者の意識を考え ることを通して、スマート フォンとの望ましいつき 合い方を考え、節度と節制 を心がけ、安全に配慮した 生活を送ろうとする心情 を育てる。	1 歩きスマホの危険性を考える。 ○歩きスマホが原因となっているトラブルについて、知っていることはあるだろ うか。 2 「歩きスマホをどうするか」を読み、この問題をどうすべきかについて話し合 う。 ●危ないとわかっているのに、歩きスマホをしてしまうのはなぜだろう。 ●歩きスマホをなくすこととはばんでいるものはなんだろう。 ●便利で快適な機器を活用しながら安全で調和のある生活を送るために、どのよ うな心がけが大切だろう。 3 本時の学習を振り返って、自分自身の生き方を振り返る。	【多面的・多角的に考える】 歩きスマホの問題の本質は何かを考え、ス マホの特性やマナーとの違いを考えなが ら、他者への影響や行為の結果を予測し、 安全で調和のある生活を送る必要性につ いて考えを深めている。 【自分ごととして考える】 歩きスマホを例に、望ましい生活習慣につ いて自分なりに考え、自分自身の生活習慣 と関連づけて安全で調和のある生活を送る ことの意味を考えている。	技術・家庭	目標 16
	13 二通の手紙 「法やきまりの意義」 【C 遵法精神、公德心】	1	規律ある安定した社会の 実現を旨とし、きまりや法 の意義について深く考え、 主体的に守ろうとする態 度を育てる。	1 「きまり」についてもっているイメージを出し合う。 ○どんな場合でも、きまりは優先されるべきなのだろうか。 2 「二通の手紙」を読み、きまりや法について考える。 ●元さんが晴れ晴れとした顔で身のまわりを片づけ、職場を去っていったのはな ぜだろう。 ●姉弟を入院させた元さんの判断を、あなたは思うだろうか。 ●きまりや法は、なんのためにあるのだろうか。 3 「きまり」について、自分の考えをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 きまりや法の意義について、話し合いを通 して考えを深めている。 【自分ごととして考える】 元さんの言動を踏まえ、遵法について自 らの経験と重ねて考えを深め、自分の言葉で まとめ、記述している。	社会、特別活 動	
10 月 ④	14 償い 「人間としての誇り」 【D よりよく生きる喜び】	1	加害者、被害者双方の悩 み、苦しみ、良心を見つめ る主人公の心情を考える 活動を通し、人間には弱さ や醜さもあるが、それを克 服し気高く生きようとし る心があることを理解し、 人間としてよりよく生き ていこうとする意欲を育 てる。	1 人間としてよりよくあるとはどういうことかについて関心を高める。 ○人って優しいなと思った経験を思い出してみよう。 2 「償い」を読み（聴き）、初発の感想を交流し合う。 3 ゆうちゃんと奥さん双方を見つめる僕の思いを通し、二人の心の葛藤を考え る。 ●一通の手紙を抱きしめてしゃくりあげるゆうちゃんを、「僕」はどんな気持ちで 見つめていたのだろうか。 ●被害者の奥さんの手紙を読んで、「僕」はどんな思いをもっただろう。 ●「人間って哀しいねだってみんなやさしい」とはどんな意味が話し合ってみよう。 4 授業を通して感じたこと、考えたことをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 罪と正面から向き合い贖罪のために生き続 けるゆうちゃんと、理不尽に愛する人を奪 われてなお、許しを与えた奥さん、それぞ れの生き方の気高さを理解している。 【自分ごととして考える】 ゆうちゃんの誠実な生き方と、それによっ て時間をかけて心が変わっていく奥さん。 二人の人間としてのあり方に、そういう人 に自分もなりたいたい心が動かされている。	音楽	
	15 美佐の進路 「理想の友情とは」 【B 友情、信頼】	1	進路選択に悩む美佐と、由 紀、雅司3人のやりとりを 通して、高め合う友情を築 くために大切なことにつ いて考え、互いを尊重し、 励まし合おうとする実践 意欲と態度を育てる。	1 理想の友情について考える。 ○理想の友情について考えてみよう。 2 「美佐の進路」を読み、登場人物の人間関係から美佐の悩みについて考える。 3 美佐の悩みを自分ごととして捉えながら、お互いを高め合う友情について深 く考える。 ●由紀と雅司が、美佐に気をつかったのはなぜだろう。 ●お互いを高め合う友情を築くために大切なことはなんだろう。 4 改めて、理想の友情について考える。 ●あなたにとって、理想の友情とはどんなものだろう。	【多面的・多角的に考える】 美佐の進路選択の可能性を多面的に検討 し、悩む美佐に寄り添う親友の心情を捉 え、高め合う友情を築くために大切なこ とについて考えを深めている。 【自分ごととして考える】 進路選択に悩む美佐の気持ちを共感的に捉 え、お互いを高め合える友情のよさに気づ き、理想の友達関係を築こうとする意欲を 高めている。	特別活動	

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	学習活動と主な発問（○は導入）	評価の視点	他教科・ 特別活動な どとの関連	SDGs 目標と の関連
10 月 ④	16 平和をつなぐ 「つながり合って生きる」 【C 社会参画、公共の精神】	1	平和活動を持続可能なものにしていくための努力について考え議論することを通して、平和な社会づくりに参画することについての考えを深め、日々の生活をよりよくしていこうとする実践意欲と態度を養う。	1 平和な社会の実現のために必要なことについて考える。 ○平和な社会を守るために、どんなことができるだろうか。 2 「平和をつなぐ」を読み、平和活動を継続することの難しさと大切さについて話し合う。 ●住岡さんの「正直迷いました。」という言葉について、どんな迷いがあったと考えられるだろうか。 ●「平和をつなぐ」ための活動について、他にどんなやり方や考え方があるだろうか。 3 自分がどのようにつながり合って生きていきたいか、考えをまとめる。 ●学校や家庭の中で日々の生活を継続させ、よりよくしていくために、大切なことはなんだろうか。	【多面的・多角的に考える】 他の人と意見交流することを通して、平和な社会づくりに参画し、連帯することについての考えを深めている。 【自分ごととして考える】 平和な社会づくりに参画し、連帯することの大切さと難しさについて考えを深め、今後の日々の生活をよりよくしていこうとしている。	社会、総合的な学習	目標 16
	17 変わりゆく地球 「未来も地球とともに」 【D 自然愛護】	1	自然や地球のかけがえのなさに気づき、感じたことを伝え合う活動を通じて、自分の取り組みに新たな価値づけをしたり、クラスメイトの活動に学んだりしながら、自然愛護のためにできることを謙虚に継続していこうとする心情を育てる。	1 地球環境問題について、知っていることを出し合う。 ○あなたはどんな時に、地球のかけがえのなさを感じるだろうか。 2 「変わりゆく地球」を読み、写真から感じたことを考える。 ●地球の環境を取り巻く問題には、どのようなものがあるだろうか。 3 教科書に自分の考えを書き、班で意見交換する。 ●将来の世代に、あなたはどんな地球を残したいだろうか。 ●地球とともに生きるために、あなたは何をしようと思うだろうか。 4 本時の学習で考えたことをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 意見を交流させる中で自分とは異なる視点や価値観に出会い、そうした考えをしっかりと受け止めて、地球環境問題についての理解を深めている。 【自分ごととして考える】 地球環境問題と自分とのつながりについて、クラスメイトの考えも参考にしながら具体的に捉え、地球とともに生きるために何をしようと思うか、考えを深めている。	社会、理科、総合的な学習	目標 13 目標 14 目標 15
11 月 ④	18 校長先生の模擬面接 「礼儀の意義」 【B 礼儀】	1	校長先生との模擬面接での愛花のとまどいを通して、時と場に応じた適切な言動について考え、形の根底にある礼儀の意義を理解し、他者に主体的に関わっていくための判断力を育てる。	1 日常生活から、礼儀について想起させる。 ○お互いに気持ちよく過ごすために、ふだん心がけていることはあるだろうか。 2 「校長先生の模擬面接」を読み、礼儀のあり方について話し合う。 ●面接官が「おかけください。」と言わなかったら、どうすればよいのだろうか。 ●礼儀にとって大切なことはなんだろうか。 ●ルールとマナーとエチケットの違いについて話し合ってみよう。 3 本時の学習で感じたことや考えたことをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 ルール、マナー、エチケットの相違点と共通点を話し合い、時と場に応じた礼儀の大切さについて、考えを広げている。 【自分ごととして考える】 時と場に応じた適切な言動について、自らの経験と重ねて考えを深めている。	国語、特別活動	
	19 カーテンの向こう 「よりよく生きる」 【D よりよく生きる喜び】	1	ヤコブのとった行動について考えることを通じて、人間には弱さや醜さを克服する強さや気高さがあることを信じて、誇りある生き方をしようとする心情を育てる。	1 自分の生き方を考える。 ○あなたは、誇りをもてる生き方をしているだろうか。 2 「カーテンの向こう」を読み、「私」の生き方を考える。 ●カーテンの向こうを見た時の「私」は、どんな気持ちだっただろう。 ●あなたは、ヤコブがとった行動をどう思うだろうか。 ●窓ぎわのベッドに移った「私」は、このあとどうしただろう。 3 自分がこれから身につけたい力は何かを考える。	【多面的・多角的に考える】 ヤコブの行動について様々な意見を聞き、誇りをもてる生き方について自分自身の考えを深めている。 【自分ごととして考える】 ヤコブの生き方を捉え直して「私」の行動を考える中から、自分自身の誇りをもてる生き方について考えている。		

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	学習活動と主な発問（○は導入）	評価の視点	他教科・ 特別活動な どとの関連	SDGs 目標と の関連
11 月 ④	20 専門家であること 「ともに働く」 【C 勤労】	1	看護師である父の、仕事への取り組み方について考えることを通して、個の役割を果たすことが社会を支えることに気づき、勤労を通して社会に貢献しようとする実践意欲と態度を育てる。	1 クラスメイトの体験談を聞いて医療系職場について考える。 ○「協力」と「協働」の違いはどんなところだろう。 2 「専門家であること」を読み、勤労について考える。 ●父が言った「決まった答えはないんだ。」とは、どんなことを意味しているのだろう。 ●異なる役割をもつ人々が協力して働くことのよさは、どんなことだろう。 ●将来、社会の一員として働く時に、あなたはどんなことを大切にしたいだろうか。 3 教師の説話を聞き、本時の学習で考えたことをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 本教材を通して考え合う中で、自他の職場体験学習を、改めてこれまでと違う視点で見つめ直し、過去の一面的な勤労観を脱して、多面的・多角的に考えている。 【自分ごととして考える】 本教材で描かれた場面を参考に、専門性の具体像をつかんでいる。また、そのことが自分の将来とのつながりを考える機会として捉えられている。	特別活動	
	21 若者議会 「みんなの一員、社会の一員」 【C 社会参画、公共の精神】	1	若者議会の活動について知ることを通して、特別活動を社会参画の観点から見直し、社会参画や社会連帯についての考えを深め、すすんで社会と関わり積極的な生き方を模索しようとする態度を育てる。	1 社会参画意識についての事前アンケートの結果を踏まえ、導入の問いについて考える。 ○社会参画と聞いて、どんなことを思い浮かべるだろうか。 2 「若者議会」を読み、社会参画の意義について話し合ってみよう。 ●これまでの生活で、「よりよい学校づくり、地域づくり」に参加した経験について話し合おう。 ●地域や国の問題を「自分ごととして捉える」とは、どういうことだろう。 ●よりよい社会をつくっていくために、大切なことはなんだろう。 3 本時の学習で考えたことをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 学校外の活動だけでなく、身近な委員会活動なども、社会参画の一つのかたちであることに気づいている。 【自分ごととして考える】 社会参画を、生徒会活動や学校行事、学級での自分の役割や係活動に置きかえて考え、積極的に参加することの大切さに気づいている。	社会	目標 11
12 月 ③	22 ひび割れ壺 「自分らしい生き方」 【A 向上心、個性の伸長】	1	ひび割れ壺と水くみ人とのやりとりから、自分の個性を生かして自分らしくよりよく生きるためにはどんなことが大切なのかを考え、実践しようとする意欲を育てる。	1 「個性」について考える。 ○自分らしく生きるとは、どういうことだろう。 2 「ひび割れ壺」を読み、自分らしく生きることについて話し合う。 ●最後の水くみ人の言葉から、気づいたこと、考えたことを出し合おう。 ●自分らしく生きるためには、どんなことが大切だろう。 ●あなたが考える「自分の長所・短所」を、もう一度見つめ直してみよう。 3 自分らしく生きるとはどういうことなのか、考えをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 自他の短所や欠点をリフレーミングする活動を通して、「自分らしさ」を見つめ直し、自分らしく生きることに考えを深めている。 【自分ごととして考える】 自分らしく生きるために大切にすべきことについて、ひび割れ壺の悩む気持ちを共感的に捉え、自らの経験と重ねて考えを深めている。		
	23 あふれる愛 「世界平和と人類の発展」 【C 国際理解、国際貢献】	1	マザー＝テレサの生き方を通して話し合うことで、人間の存在や価値についての理解を深め、国際的な視野に立って、世界の平和と人類の発展に貢献しようとする実践意欲と態度を育てる。	1 本時の学習テーマについて知る。 ○「あふれる愛」というタイトルから思いつくことを、できるだけたくさんあげてみよう。 2 「あふれる愛」を読み、世界の平和と人類の発展のためには何が大切なのかについて話し合う。 ●マザー＝テレサが瀕死の人を病院に運んだり、「死を待つ人の家」をつくったのは、どんな思いからだろう。 ●マザー＝テレサの生き方からどんなことを学んだか、話し合ってみよう。 ●国際社会の一員として、他国を尊重し、人々の幸せや平和を実現するために、あなたにできることを考えてみよう。 3 自分は今後、どのように世界平和と人類の発展に関わっていきたいかを考える。	【多面的・多角的に考える】 他の人の意見を共感しながら聞き、他の人の意見と自分の意見を比較して、自分の意見との違いを理解しながら、マザー＝テレサの生き方から学んだことを広げ、深めている。 【自分ごととして考える】 マザー＝テレサの生き方から学んだことを、自分の今後のあり方や行いに結びつけて考えを深めている。	社会	目標 10 目標 16

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	学習活動と主な発問（○は導入）	評価の視点	他教科・ 特別活動な どとの関連	SDGs 目標と の関連
1 月 ③	24 抗議する選手たち 「差別や偏見を許さない 心」 【C 公正、公平、社会正義】	1	人種差別に抗議する選手 たちの行動から「意識する 自分」になりたいと思うよ うになった主人公の心の 変化を考える活動を通し、 自ら積極的に正しい行動 を実践することの大切さ に気づかせ、公正・公平に ふるまおうとする態度を 育てる。	1 正しいとわかっていても行動に移せなかったことを想起する。 ○正しいとわかっていることを行動に移せないことがあるのはなぜだろう。 2 「抗議する選手たち」を読み、正しいと信じることを行動に移すことの社会的 意義について考える。 ●「私」が、自分で答えを見つけるぞという気持ちを強くもったのは、どうしてだ ろう。 ●「意思表示することは、基本的人権」とは、どういう意味だろう。 3 公平・公正に生きるために大切なことを考える。 ●「意識する自分」になるために大切なことはなんだろう。	【多面的・多角的に考える】 話し合いの中で、他の人の意見と自分の考 えを比較しながら、自分の考えをより深め ようとしている。 【自分ごととして考える】 教材を通して、日常生活での「正しいとわ かっていても行動に移せない経験」を想起 し、その原因と改善の方向性を探ろうとし ている。	社会	目標 10
	25 サルも人も愛した 写真家 「自然との共存」 【D 自然愛護】	1	野生動物と人間の共存に ついての葛藤を通して、自 然と人間、自己との関わり について考えを深め、自然 との調和の中で生かされ ていることを自覚し、共存 していこうとする態度を 育てる。	1 野生動物による被害について知っていることを出し合う。 ○自然を守り、自然と共存するとは、どういうことなのだろう。 2 「サルも人も愛した写真家」を読み、自然を守り、自然と共存することにつ いて話し合う。 ●サルによる被害に遭ったおばあさんから言われた言葉を、松岡さんはどう受け 止めたのだろう。 ●あなたが松岡さんの立場なら、サルの駆除に協力するだろうか、しないだろう か。それはなぜだろう。 ●人間が生活していくことと、自然を守ることとの関わりについて考えよう。 3 自然と共存するあり方について考えをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 自分たちの生活を守ることも野生動物の命 を守ることも大切であるということにつ いて、松岡さんの心情を理解し、村人たちの 背景も踏まえて考えを深めている。 【自分ごととして考える】 サルを愛し、自然との共存を願っている松 岡さんの葛藤を共感的に捉え、自分だっ たらどうするかという視点で考えを深めて いる。	理科、総合的 な学習	目標 15
2 月 ④	26 家族の思いと意思 表示カード 「かけがえのない生命の 尊重」 【D 生命の尊さ】	1	意思表示カードに記され た姉の思いと、家族の思い を通して、生命をどのよ うに大切にするかを考え、か けがえのない生命を尊重 しようとする心情を育て る。	1 臓器移植について考える。 ○臓器提供について、さまざまな考えがあるのはなぜだろう。 2 臓器提供意思表示カードについて考える。 ●父の考えと母の考えを、それぞれどう思うだろうか。 ●「命を大切にする」とは、どういうことだろう。 ●あなたは、臓器提供意思表示カードにどんな意思を示そうと思うだろうか。 3 自分の命をどう生かすか考える。	【多面的・多角的に考える】 自分とは異なる人の意見に耳を傾け、その 理由を理解することで、自分の死生観を問 い直し、生命の尊さについての考えを深め ている。 【自分ごととして考える】 自分だったら意思表示カードにどんな意思 を示すかを考えることから、かけがえのな い生命への思いを深めている。	社会	
	27 片足のアルペンス キーヤー・三澤拓 「目標に向かう強い意 志」 【A 希望と勇気、克己と強 い意志】	1	夢に挑戦し続けている三 澤さんの生き方から、その 原動力となっているもの について考え、目標を実現 するために希望と勇気をも って実行し、困難に屈せ ず粘り強くやり抜こうと する実践意欲と態度を育 てる。	1 将来の夢や目標について考える。 ○あなたは今、どんな夢や目標をもっているだろうか。 2 「片足のアルペンスキーヤー・三澤拓」を読み、夢や目標をもった生き方につ いて話し合う。 ●三澤さんが競技人生を続ける原動力となっているものはなんだろう。 ●三澤さんの生き方から学んだことを出し合おう。 3 自分自身の夢や目標を見つめ直し、それにどう向かっていくのかを考える。 ●自分の夢や目標を実現するためにこれから取り組みたいと思っていることをあ げてみよう。	【多面的・多角的に考える】 夢の実現に向けて挑戦し続ける三澤さん の原動力となっているものについて、意見 交流や話し合いを通して多面的・多角的に 考えている。 【自分ごととして考える】 自分の夢や目標を実現するために、これか ら取り組みたいことについて考えを深めて いる。	保健体育	目標 10

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	学習活動と主な発問（○は導入）	評価の視点	他教科・ 特別活動な どとの関連	SDGs 目標と の関連
2 月 ④	28 足袋の季節 「思いやりの心、人間 愛」 【B 思いやり、感謝】	1	おばあさんの思いやりに感謝し、自分の弱さを見つめ、たくましく生きる「私」の生き方を考えることを通して、多くの人々の善意により今の自分があることに気づき、思いやりあふれる人間愛の精神を深めようとする態度を育む。	1 本時の学習テーマをつかむ。 ○「あのことがあるから今の自分がある」と思った経験はあるだろうか。 2 「足袋の季節」を読み、思いやりについて話し合う。 ●「私」が「むしように自分に腹が立った」のは、どうしてだろう。 ●「私」が「あのおばあさんが、私にくれた心を、今度は、私が誰かにさしあげなければ」と考えたのは、どんな気持ちからだろう。 ●人が人を思う気持ちについて、自由に話し合ってみよう。 3 本時の学習を振り返り、自分自身の生き方を見つめる。	【多面的・多角的に考える】 「思いやり」について、その場で目に見えるものだけでなく様々な人たちの思いやりがあること、人は「思いやり」で支えられて生きていることなどを、多面的・多角的に考えている。 【自分ごととして考える】 「私」の葛藤を共感的に捉え、自らの経験と重ねて考えを深めている。		
3 月 ②	29 旅立ちの日に 「集団の一員として」 【C よりよい学校生活、集 団生活の充実】	1	卒業式に臨む姿勢を考えることを通して、自分たちの学校を改めて見つめ直し、学校の一員として自分にできることは何かを考えようとする態度を育てる。	1 これまで参加してきた卒業式を振り返る。 ○卒業式は、誰のために、なんのためにあるのだろう。 2 「旅立ちの日に」を読み、卒業式の意義について話し合う。 ●「なんとなく口だけは開けて」歌っていた「僕」は、どんなことを考えていたの だろう。 ●「僕も本気で歌うよ！」と大声で言った「僕」は、何に気づいたのだろう。 ●学校の一員として、あなたは誰に、何を伝え、何を残して卒業していききたいだろ うか。 3 3年生として卒業式にどう臨みたいか、自分の考えをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 卒業式に関係する様々な人の立場に立って考えることで、3年生として卒業式にどの ように臨むとよいか、考えを深めている。 【自分ごととして考える】 卒業式は、誰のために、なんのためにある のかについて、「僕」の葛藤を共感的に捉 え、自らの経験と重ねて考えている。	特別活動	
	30 もう一つの時間 「自然と自己との関わり」 【D 感動、畏敬の念】	1	筆者が自然と向き合う中で考えたことを通して、人間の力を超えたものに美しさや気高さを感じ、自然の中で生かされていることを自覚し、そのことに特別な喜びを感じる心を育み、自己のあり方や生き方を深めようとする心情を育てる。	1 2枚の写真から、教材への関心を高める。 ○自然の風景に心を動かされたり、自然の不思議さを感じたりしたことはあるだ らうか。 2 「もう一つの時間」を読み、人間と自然の関わりについて考える。 ●「全てのものに平等に同じ時間が流れている不思議さ」とは、どういうことだろ う。 ●「僕」はなぜ、もう一つの時間が流れていることを意識できるかどうかは、天と 地の差ほど大きいと考えるのだろうか。 3 星野さんのメッセージを通して考えたことを、自分なりにまとめる。 ●2枚の写真から、あなたが感じたことを書いてみよう。	【多面的・多角的に考える】 人間と自然、自分と自然との関わりにつ いて筆者やクラスメイトの考えを共感的に捉 え、多面的・多角的に考えを深めている。 【自分ごととして考える】 悠久の自然を人間の力が及ばない存在とし て認識し、人間としてどう生きるかにつ いて、自らの感覚や経験と重ねて考えを深め ている。	国語	
補 充 教 材	31 駐車場係として 「自分にできること」 【A 自主、自律、自由と責 任】	1	自分の役割を放棄して試合を見に行こうとした「僕」の心情と行動の是非を話し合うことを通して、自分の役割を忠実に果たすことの大切さに気づき、責任ある行動をとるための判断力を育てる。	1 裏方の役割を担った経験を出し合う。 ○自分の役割を最後までやりとおせなかった経験はないだろうか。 2 「駐車場係として」を読み、役割を誠実に果たすことの意義について話し合う。 ●キャプテンの試合を見ようとコートに向かった「僕」を、あなたは思うだろ うか。 ●「僕」が駐車場係の仕事に戻ったのは、どんな気持ちからだろう。 3 自分の行動を決める時に大切にすべきことを考える。 ●自分の行動を決める時に大切なことは何か、考えてみよう。	【多面的・多角的に考える】 自分の役割を誠実に果たすことの大切さにつ いて、今自分がおかれている状況や他者 への影響という視点から考えを深めてい る。 【自分ごととして考える】 自分の役割を誠実に果たすことについて、 「僕」の葛藤を共感的に捉えながら、自ら の経験と重ねて納得解を導き出している。	特別活動	

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	学習活動と主な発問（○は導入）	評価の視点	他教科・ 特別活動な どとの関連	SDGs 目標と の関連
補充 教材	32 憧れの消防団 「社会連帯の自覚」 【C 社会参画、公共の精神】	1	「僕」と消防団との交流を通して、社会連帯の意義と価値についての理解を深め、社会をよりよくするために主体的に関わっていくとする実践意欲を育てる。	1 ボランティア活動の経験について出し合う。 ○ボランティア活動をした時、どんな気持ちだっただろうか。 2 消防団について理解する。 3 「憧れの消防団」を読み、社会の一員としてどう行動すべきか話し合う。 ●「いつか僕もその一員になれたらと強く思う」主人公を、あなたは思うだろうか。 ●ボランティア活動で大切なことはなんだろうか。 ●社会の一員として生きるということはどういうことだろうか。 4 本時の学習で感じたことや考えたことをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 社会連帯の意義や価値について、様々な立場や場面から多面的・多角的に考えを深めている。 【自分ごととして考える】 「僕」の心情を共感的に捉え、自分の体験と重ね合わせ、社会をよりよくするために自分なりの関わり方を見つけようと考えを深めている。	社会、総合的な学習	目標 11 目標 13
	33 世界に誇る 「BONSAI」 「日本の伝統・文化の継承」 【C 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度】	1	盆栽師・加藤三郎の思いを考慮することを通して、わが国の伝統や文化を継承していくことの重要性に気づき、自国の文化を尊重しようとする態度を育てる。	1 日本の伝統文化で連想するものを出し合う。 ○日本の伝統文化には、どのようなものがあるだろうか。 2 「世界に誇る『BONSAI』」を読み、日本の伝統や文化について考える。 ●留吉は、戦争中、どんな思いで盆栽を守り続けたのだろうか。 ●（エゾマツ、おまえ、出世したなあ……。）には、三郎のどんな思いがこめられているだろうか。 ●日本の伝統文化を絶やさないためには、どんな思いが大切だろうか。 3 日本のよさについて、自分との関わりから考えを深める。	【多面的・多角的に考える】 盆栽を守り広めてきた先人の思いを捉え、時代の推移の中で伝統文化のよさについて考えを深めている。 【自分ごととして考える】 興味をもって教材に向かい、日本の伝統や文化のよさや、自分がこれからどう向き合っていくかについて考えを深めている。	総合的な学習	
	34 琵琶湖とともに 「環境を守る」 【D 自然愛護】	1	汚染された琵琶湖をよみがえらせるために県民一人一人が果たした役割の大きさに気づき、環境を守るためにできることをしていきたいという実践意欲を養う。	1 ポスターをもとに、環境問題との向き合い方について話し合う。 ○身近な環境問題と向き合うために大切なことはなんだろうか。 2 「琵琶湖とともに」を読んで、環境を守るために大切なことを話し合う。 ●琵琶湖をよみがえらせることができたのはどうしてだろう。 ●琵琶湖はよみがえったのに、新たな取り組みをしているのはどうしてだろう。 3 身近な環境問題との向き合い方について話し合う。 ●身近な環境問題と向き合うために、滋賀県の取り組みから学べることはなんだろうか。	【多面的・多角的に考える】 自然環境を守るためには、一人一人の意識の高さや行動だけでなく、県などの自治体との協働も大切であることに気づき、目の前の環境問題だけでなく、持続可能な活動にしていくことの必要性について考えている。 【自分ごととして考える】 滋賀県の取り組み（MLGs）を、地域の環境問題を見直すヒントにして、自分にできることから始めようとする意識が芽生えている。	社会、理科	目標 15 目標 17
	35 カムイモシリと アイヌモシリ 「自然への畏敬」 【D 感動、畏敬の念】	1	アイヌ民族における自然との関わり方について考え議論することを通して、自然の中で生きることへの考えを深め、自然への畏敬の念をもちながら自然と共存していくとする実践意欲と態度を養う。	1 自分を取り巻く自然の捉え方について考えを出し合う。 ○あなたは、どんな時に、自然のありがたさや偉大さを感じるだろうか。 2 「カムイモシリとアイヌモシリ」を読み、アイヌの人々の自然の捉え方と関わり方から人間の力を越えたものについて話し合う。 ●アイヌの人たちは、自然をどのように捉えているだろうか。 ●アイヌの人たちが考える「人間と自然とのよい関係」から、どんなことを感じただろうか。 3 自分が自然をどのように捉え関わっていききたいか、考えをまとめる。 ●あなたはこれから、自然とどのように向き合っていくと思うだろうか。	【多面的・多角的に考える】 自然と人間の関係や自然とともに生きるための態度について、アイヌの人々の自然観と生き方を理解し、他の人の多様な意見と交流しながら考えを深めている。 【自分ごととして考える】 自然への畏敬の念をもって共存していくために大切にすべきことについて、自らの生活や将来の社会的活動に生かせるように、考えを深めている。	社会	目標 14 目標 15 目標 17